

2013 年度 第 5 回 CPC 研究会

日 時: 10 月 11 日 (金) 13:30 ~ 16:30

会 場: 連合会館 201 会議室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11) TEL: 03-3253-1771

参加費: 維持会員・大学官公庁関係 = 無料 / 非会員 = 15,000 円

13:30 ~ 14:55

「(株) IHIエアロスペースにおける C/C 複合材料の開発経緯と

C/C 複合材料特性評価」

株式会社 IHIエアロスペース 山内 宏 氏

- 1) (株) IHIエアロスペースの沿革
- 2) (株) IHIエアロスペースでの C/C 複合材料の開発経緯
- 3) C/C 複合材料の要素技術研究
- 4) C/C 複合材料の特性評価 (産業技術総合研究所との共同研究)
- 5) 今後の研究開発の課題

(株) IHIエアロスペースでは、1963 年よりアポジキック衛星モータに C/C を搭載した経緯があり、それ以来連綿と現在まで製品開発を通じて C/C 複合材料の研究開発を続けている。弊社(以下IA)の製造法の最大の特徴は、HIP 法により高密度化を達成できることであり、これにより H2A 固体ロケットブースタの C/C ノズルスロートを安定的に製造できる技術を有している。本講演では、C/C ノズルスロートの開発を主に、周辺材料、特性評価及び最近の研究開発について報告する。

15:05 ~ 16:30

「ポリイミド・芳香族高分子の構造と炭素化および黒鉛化挙動」

豊橋技術科学大学 竹市 力 氏

- 1) ポリイミドの化学構造と炭素化挙動
- 2) ポリイミドの黒鉛化挙動
- 3) ポリベンゾオキサジンの炭素化

芳香族ポリイミドは秩序構造を形成し、不活性雰囲気での熱処理では、熱処理温度に応じて炭素化を経て黒鉛化する。フィルムの炭素化の段階では、マイクロ細孔を有する黒色フィルムが得られ、細孔容積はポリイミドの構造によって制御ができる。炭素化フィルムをさらに高温で熱処理すると、黒鉛化が進行し、高品質黒鉛フィルムが得られる。新規なフェノール樹脂として興味を持たれているポリベンゾオキサジンの炭素化についても紹介する。

CPC 研究会講演会事務局行 FAX:029-861-8712 または e-mail: sec@cpc-society.org

10 月 11 日の研究会に出席します(連合会館 201 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: